室蘭工業大学
学術資源アーカイブ
Muroran Institute of Technology Academic Resources Archive

萱野茂先生を偲んで

メタデータ	言語: jpn 出版者: 室蘭認知科学研究会 公開日: 2013-12-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 田頭, 博昭 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10258/2747

認知科学研究
No. 5, 3-4, 2007.
室蘭認知科学研究会

萱野茂先生を偲んで

田頭博昭

The Memories of Dr. Kayano

Hiroaki TAGASHIRA

萱野茂先生と初めてお会いしたのは、平成 12 年の初夏の頃であった。共通講座・言語科学講座の松名隆先生がアイヌ語の研究を萱野先生のご指導のもとで行っておられたことが取り持つ縁で、萱野先生を平取町二風谷のお宅に訪問する栄に浴した。萱野先生はアイヌ民族を代表して国会議員としてアイヌ民族の権利を回復する法律の制定に力を尽くされた方である。これは周知の事実であるが、私はそれ以上のことは存じ上げなかった。

さて、実際にお会いした萱野先生は、私から見ると、大柄のがっしりした体格の方で、頭髪は半白でおられたが、お元気で、しかも言葉遣いや立ち振る舞いが自然で、人の分け隔てを感じさせない気さくな人柄がすぐに伝わってくるような、真の意味での紳士であった。

お宅に招じ入れられて、二風谷の生活を中心としたよもやまの話を伺いながら、四季の移り変わりから読み取れる、自然がひそやかに提示する摂理や真理とでもいえるものについて、静かにお話下さったのがまことに印象深いものであった。と同時に、この方は人間活動の多くの場面をご体験になられており、そのことがなにげない挙措や言葉に説得力を与えているのだと感じずにはいられなかった。私からは、室蘭工業大学は今後、環境や自然について一層深い関心を持って教育研究・社会貢献活動を進めてまいりたいので、ご指導をよろしくお願い申し上げます、という趣旨のことを申し上げたと記憶している。また、その機会に、萱野茂二風谷アイヌ資料館を案内して頂いた。帰り際に、奥様から私にとって大変珍しい鹿肉を頂戴し、恐縮したことを憶えている。

萱野先生は別の機会に、平取町二風谷アイヌ文化博物館やアイヌの人々のかつての住居をわざわざ自ら先導して見せて下さった。私は先生の勲三等瑞宝章受賞の祝賀の席で、お祝いの言葉とともに室蘭工業大学が環境問題に取り組むことをお約束する発言をさせて頂いた。その後、先生に室蘭工業大学客員教授をお願いし、研究や学生への講義をしていただくなど、大変お世話になった。

萱野茂先生のご逝去の折りには、葬儀委員長様宛にお悔やみの言葉とささやかなご香料をお送りした。後日、奥様から、ご丁寧な書状を頂戴し大変恐縮した。

私が萱野先生から頂いた一番の教えは、人間の生き方についてではないかと思う。い

かなる事態にも、真正面から向き合い対処して先生は生きてこられたのだと感じている。先生のような心身と感性のスケール、そして誠実さを持たなければ到達し難しいことではあろうが、思わずそのように努力してみたいと誘われる魅力ある生き方であると思う。萱野先生から学ばせて頂いたものは、私の生涯の中で決して色褪せることはないだろう。

終わりにあたり、萱野先生のご冥福を、改めて心からお祈り申し上げたい。

執筆者紹介
所属：前室蘭工業大学学長